平成24年3月期　第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月2日

上 場 会 社 名	OKK(大阪機工株式会社)	上場取引所	東・大
コ ー ド 番 号	6205	URL	http://www.okk.co.jp
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)井関　博文	
問合せ先責任者	(役職名)取締役執行役員管理本部長	(氏名)髙原　宏幸	TEL (072)771－1158
四半期報告書提出予定日	平成23年11月11日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1.　平成24年3月期第2四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	10,840	30.9	308	―	164	―	176	―
23年3月期第2四半期	8,282	106.8	△305	―	△569	―	△503	―

(注)　包括利益　24年3月期第2四半期　△6百万円　(－%)　23年3月期第2四半期　△917百万円　(－%)

	１株当たり四半期純利益		潜在株式調整後１株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第2四半期	2	23		―
23年3月期第2四半期	△6	43		―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	41,949	16,282	38.8
23年3月期	41,897	16,289	38.9

(参考)　自己資本　24年3月期第2四半期　16,282百万円　23年3月期　16,289百万円

2.　配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0 00	―	0 00	0 00
24年3月期	―	0 00			
24年3月期(予想)			―	0 00	0 00

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3.　平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	21,000	15.4	800	―	600	―	500	―	6	35

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4.　その他（詳細は、【添付資料】P.3「2.サマリー情報（その他）に関する事項」をご覧ください。）

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　有

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　―社　（社名）　　除外　　1社　（社名）　㈱オーケーケーエンジニアリング

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　有

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

(4) 発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	81,465,568株	23年3月期	81,465,568株
②　期末自己株式数	24年3月期2Q	2,365,536株	23年3月期	2,361,261株
③　期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	79,102,278株	23年3月期2Q	78,282,825株

(注意事項)

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……P 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……P 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……P 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……P 2

２．サマリー情報（その他）に関する事項 ……P 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……P 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……P 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……P 3

３．四半期連結財務諸表 ……P 4
（１）四半期連結貸借対照表 ……P 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……P 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……P 8
（４）継続企業の前提に関する注記 ……P 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……P 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における世界経済は、欧州の金融不安や米国経済の回復鈍化、新興国においてもインフレ懸念から金融引き締めの動きが出るなど景気の先行きにやや不透明感が増しております。一方、日本経済においては、震災後の生産設備等の復旧が進み全体的にはゆるやかながらも回復基調を持続しているものの、急激な円高の進展により製造業を中心に今後の業績への影響が懸念されます。

このような状況下、当社グループは「お客さまの信頼に応える」という経営理念を第一に、４年後に迎える創業100周年をにらんで、「選択と集中」により今後の不確実な時代にも耐えうるしっかりとした経営基盤を確立することを目的として、新たな諸施策を実行し収益改善に取り組んでおります。

具体的には、主力の工作機械部門におきましては、４月からマーケティング力、商品開発力、サービス体制の強化を図るための機構改革を実施し、顧客満足度の向上を進めております。新製品の開発におきましては、剛性を高め重切削性を向上させた横形マシニングセンタMCH8000を開発しEMOショーに出展、８月には当社の主力機種VM5Ⅲの使い易さと切削性能をさらに進化させた立形マシニングセンタVM53Rを開発しメカトロテックジャパンに出展しました。また、生産部門におきましては、現場カイゼンによる生産効率の向上、部品海外調達比率の向上等により一層のコストダウンに取り組みました。さらに、生産子会社であるTHAI OKK MACHINERY CO.,LTD.の拡充により、ボリュームゾーンを対象とした部品加工用の立形マシニングセンタVC51の組立までの一貫生産を進めております。

一方、水道メーター部門におきましては、４月より販売部門を連結子会社に譲渡し、製販一体となった事業展開が効果を上げつつあります。

この結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は10,840百万円（前年同期比30.9％増）となり、利益面につきましては、営業利益308百万円（前年同四半期は営業損失305百万円）、経常利益164百万円（前年同四半期は経常損失569百万円）、四半期純利益176百万円（前年同四半期は四半期純損失503百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

（工作機械事業）

国内は、自動車、ＩＴ、建機、半導体向けの販売に注力し、売上高は4,089百万円（前年同期比41.7％増）となりました。海外につきましては、北米の自動車、航空機向けが引続き好調に推移した他、中国を中心としたアジアも自動車、建機向けを中心に堅調に推移し，売上高は5,785百万円（前年同期比34.5％増）となりました。この結果、全体の売上高は9,875百万円（前年同期比37.4％増）、営業利益は366百万円（前年同四半期は営業損失254百万円）となりました。

（水道メーター事業）

計器は新JIS規格への切替の影響により販売が予想を下回りました。この結果、売上高は630百万円（前年同期比21.0％減）となりましたが、製販一体による事業の効率化により、営業損失は4百万円（前年同四半期は営業損失19百万円）と大きく改善しました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は41,949百万円となり、前連結会計年度末と比較して52百万円の増加となりました。これは主に、たな卸資産の増加1,630百万円、受取手形及び売掛金の増加457百万円、現金及び預金の減少1,475百万円、有形固定資産の減少305百万円などによるものであります。

負債は25,667百万円となり、前連結会計年度末と比較して59百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加1,064百万円、借入金の減少1,011百万円などによるものであります。

純資産は16,282百万円となり、前連結会計年度末と比較して7百万円の減少となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少132百万円、利益剰余金の増加176百万円などによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期連結業績予想につきましては、現時点においては平成23年５月13日公表いたしました数値から変更ありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において、当社の連結子会社であった㈱オーケーケーエンジニアリングは、平成23年４月１日付けで、当社の連結子会社である㈱オーケイケイ・シムテックを存続会社とする吸収合併方式による合併に伴い消滅いたしました。

なお、㈱オーケイケイ・シムテックは、合併後に商号をＯＫＫテクノ㈱に変更しております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

［会計方針の変更］

・税金費用の計算方法の変更

税金費用については、従来、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しておりましたが、より合理的かつ正確に算定を行うため、第１四半期連結会計期間より年度の決算と同様の方法で計算する方法に変更しております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期については遡及適用後の四半期連結財務諸表となっておりますが、当該会計方針の変更の遡及適用による前第２四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

［追加情報］

・会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,284	3,808
受取手形及び売掛金	5,360	5,817
たな卸資産	7,747	9,378
その他	389	315
貸倒引当金	△67	△58
流動資産合計	18,715	19,261
固定資産		
有形固定資産		
土地	15,415	15,411
その他（純額）	5,204	4,903
有形固定資産合計	20,619	20,314
無形固定資産	123	113
投資その他の資産		
投資有価証券	2,076	1,978
その他	440	315
貸倒引当金	△78	△33
投資その他の資産合計	2,439	2,260
固定資産合計	23,182	22,687
資産合計	41,897	41,949
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,747	5,811
短期借入金	6,193	5,836
1年内償還予定の社債	－	100
未払法人税等	38	26
賞与引当金	134	138
製品保証引当金	43	49
その他	1,013	1,028
流動負債合計	12,171	12,990
固定負債		
社債	100	－
長期借入金	4,028	3,373
再評価に係る繰延税金負債	6,007	6,007
退職給付引当金	2,624	2,744
その他	676	551
固定負債合計	13,436	12,676
負債合計	25,607	25,667

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,283	6,283
資本剰余金	1,455	1,455
利益剰余金	802	979
自己株式	△526	△527
株主資本合計	8,014	8,190
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	265	133
土地再評価差額金	8,278	8,278
為替換算調整勘定	△269	△320
その他の包括利益累計額合計	8,274	8,091
純資産合計	16,289	16,282
負債純資産合計	41,897	41,949

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	8,282	10,840
売上原価	6,865	8,437
売上総利益	1,417	2,403
販売費及び一般管理費	1,722	2,095
営業利益又は営業損失（△）	△305	308
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	24	26
その他	9	7
営業外収益合計	38	37
営業外費用		
支払利息	100	87
為替差損	181	80
その他	20	12
営業外費用合計	302	181
経常利益又は経常損失（△）	△569	164
特別利益		
投資有価証券売却益	218	112
その他	37	0
特別利益合計	256	113
特別損失		
投資有価証券評価損	77	42
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	67	－
その他	23	1
特別損失合計	168	44
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△482	233
法人税、住民税及び事業税	22	55
法人税等調整額	2	1
法人税等合計	24	56
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△506	176
少数株主損失（△）	△2	－
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△503	176

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△506	176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△353	△132
為替換算調整勘定	△57	△50
その他の包括利益合計	△411	△183
四半期包括利益	△917	△6
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△914	△6
少数株主に係る四半期包括利益	△2	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△482	233
減価償却費	481	444
貸倒引当金の増減額（△は減少）	50	△53
賞与引当金の増減額（△は減少）	66	3
退職給付引当金の増減額（△は減少）	53	119
受取利息及び受取配当金	△28	△30
支払利息	100	87
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	67	－
投資有価証券売却損益（△は益）	△218	△112
投資有価証券評価損益（△は益）	77	42
売上債権の増減額（△は増加）	△1,414	△463
たな卸資産の増減額（△は増加）	△99	△1,678
仕入債務の増減額（△は減少）	1,987	1,064
その他	30	214
小計	671	△127
利息及び配当金の受取額	28	29
利息の支払額	△97	△88
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	55	△63
営業活動によるキャッシュ・フロー	658	△249
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△50	△112
有形固定資産の売却による収入	－	14
無形固定資産の取得による支出	△1	－
投資有価証券の売却による収入	450	177
子会社株式の取得による支出	△1	△198
関係会社出資金の払込による支出	△46	－
貸付金の回収による収入	0	66
その他	13	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	364	△53
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△115	△197
長期借入れによる収入	－	150
長期借入金の返済による支出	△742	△964
株式の発行による収入	1,000	－
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△0	△0
リース債務の返済による支出	△133	△115
財務活動によるキャッシュ・フロー	8	△1,127
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23	△49
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,007	△1,480
現金及び現金同等物の期首残高	4,802	5,244
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,810	3,763

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。